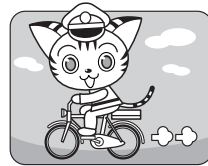
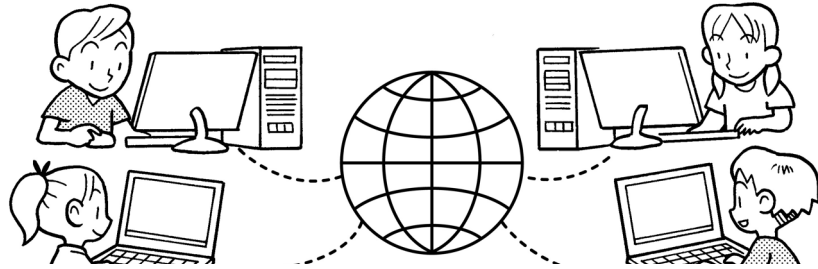


子ども防犯だより



監修：安全生活アドバイザー 佐伯幸子



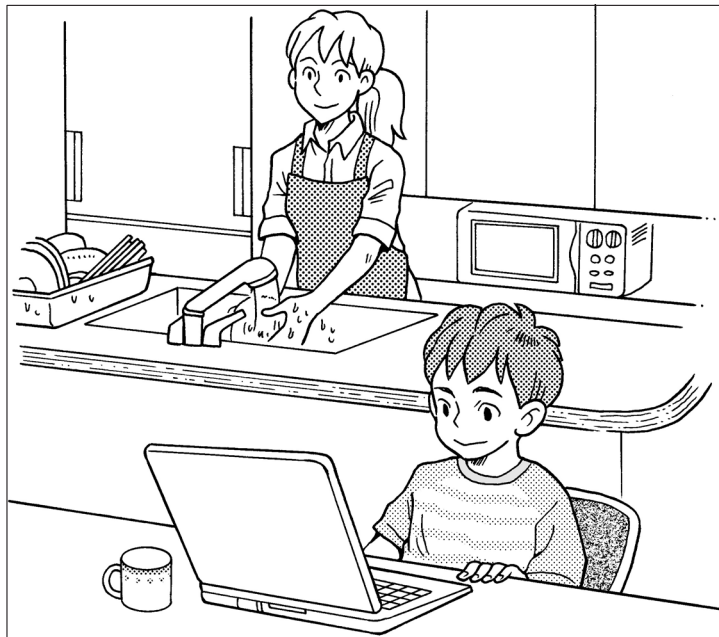
インターネットを安全に使うために

インターネットは便利な反面、危険な側面も併せ持っています。子どもが被害者になるだけでなく、軽い冗談のつもりで掲示板に書き込んだ内容が、友だちを傷つけることも。ネットを利用する前に、どんな点に注意をしておけばよいのでしょうか。

MEMO

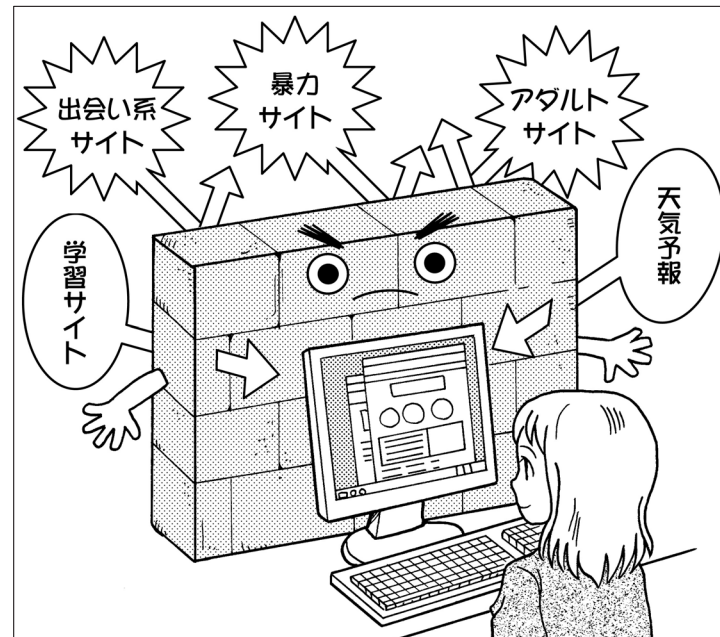
インターネットはリビングで

インターネットにつながっているパソコンは、できればリビングなど、家族が集まるところに置きましょう。子ども部屋にパソコンを置いてしまうと、子どもがネットを利用している時間も、どんなサイトを見ているのかも分かりません。親の知らないところで出会い系サイトにはまったり、トラブルに巻き込まれたりしている可能性も。パソコンはリビングに置き、親子でコミュニケーションを取りながら利用するようにしましょう。



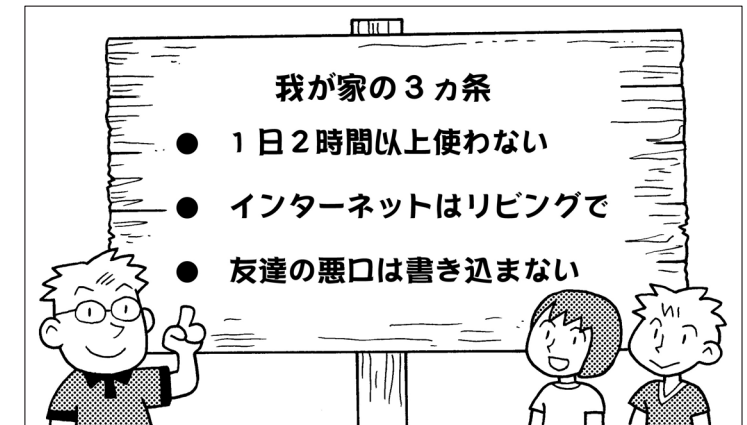
フィルタリングを導入しよう

フィルタリングとは、暴力系やアダルト系、出会い系など、子どもに見てほしくないサイトを見られないようにする仕組みで、そのためのソフトを、フィルタリングソフトと言います。問題のあるサイトを遮断する方式や、安全なサイトだけを登録し、それ以外はすべて遮断する方式、サイト内のキーワードから判断する方式などいろいろな種類があります。フィルタリングをすれば確実というわけではありませんが、導入しておいた方が安全です。



親子でルールを決めよう

インターネットを利用する時は、親子でルールを決めておきましょう。利用している時間は一日何時間までか、商品などを勝手に注文しない、メールや掲示板にうそや悪口を書き込まないなど、やっていいこと、いけないことを明確にしておきましょう。何かあったらすぐに親に相談するように決めておくことも重要です。



インターネットは正しく利用すれば知識も増え、知る楽しさも分かるようになりますが、あくまでも学習のため、楽しむための道具だと認識しましょう。トラブルが起きた時に「子どもが勝手にやったこと」と言い逃れできないという親の責任を自覚しておくことが大切です。